

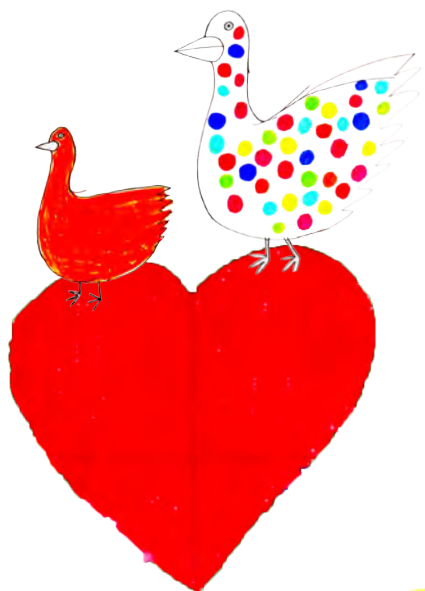


〈はまぎん〉

ミライを創る

アクションプログラム

～こどもの未来を支援する活動募集～



2023年度（第2回）

実施報告書

2025年5月発行



横浜銀行



本プログラムについて

本プログラムは、おもに神奈川県で社会課題解決に向けて活動している NPO 法人を対象に、横浜銀行が活動奨励金を支給することで、地域の社会課題解決に貢献することをめざす取り組みです。NPO 法人から SDGs の 17 の目標に関連した取り組みを募集・選考し、活動奨励金の支給団体は、そのプラン・アイデアの実践のため、1年間活動します。

2023 年度（第 2 回）実施概要

募集テーマ

SDGs ゴール1「貧困をなくそう」のうち、「こどもの貧困対策」に関係する取り組み。

例:ひとり親家庭、ヤングケアラー、児童虐待、社会的養護などにおいて、学習支援、食の支援、こどもや保護者の就労支援、ボランティア等の育成支援、相談支援など、教育や生活の安定・向上を支援するもの。

活動奨励金 1件あたり 50 ～ 100 万円の活動奨励金を支給

選考方法 書類選考、面接

募集期間 2023 年 7 月 7 日～ 9 月 8 日

支給団体およびプラン・アイデア名

法 人 名	プラン・アイデア名	おもな活動地域
特定非営利活動法人 パノラマ	困難な環境の子どもたちの“生きる力”を 育むための体験機会の提供	横浜市青葉区
特定非営利活動法人 バンブーマナビ塾	貧困その他による教育格差、体験格差に 対し学習、体験、居場所等の支援	横浜市内全域
特定非営利活動法人 フェアスタートサポート	児童養護施設の子ども達への 就労支援事業	神奈川県内全域

主催・後援・協力

主催：横浜銀行

後援・協力：神奈川県

協力：横浜国立大学、

認定 NPO 法人神奈川子ども未来ファンド、
浜銀総合研究所

チラシ制作：社会福祉法人 アール・ド・ヴィーヴル



2023 年 12 月 19 日に活動奨励金授与式を開催しました

横浜銀行は、今後もこどもの未来を支える活動への支援を通じて、地域経済の活性化に貢献していきます。



団体紹介

「すべての人々がフレームインできる社会を創る」をミッションに掲げ、社会的排除リスクの高いこどもや若者たちに対し、中途退学や進路未決定を予防する支援や、学校や職場を失ってもセーフティネットとつながり続けるための支援をおこなっています。

プラン・アイデア名

困難な環境の子どもたちの“生きる力”を育むための体験機会の提供

青葉区寄り添い型生活支援事業では、日常生活習慣の形成、社会性育成のための支援を必要とする家庭に育つ小・中学生を放課後に預かり、将来の自立に向けた支援をおこなっています。当事業を利用することも子どもたちに対し、事業所内外でのびのびと遊べるような体験機会を提供しました。



収穫体験の様子

1 年間の活動の成果

延べ約 80 人の小中学生に対し、事業所内外での様々な体験機会を提供しました。新たな取り組みとして、低学年児童を対象とした「はまぎんこども宇宙科学館」での体験学習、高学年児童を対象とした宿泊行事等、こどもの年齢に応じた行事を開催しました。これにより、低学年のこどもが自身の成長を楽しみにするようになったり、高学年のこどもの年下のこどもへの関わり方が変化したりするようになりました。また、プール活動やヨガ体験を外部の講師を招いて実施したことで、上達することの達成感をこどもたちが感じることができました。



クリスマスパーティーで
こどもたちと作成

今後の活動について

今回の新たな取り組みの成果をふまえ、今後はこどもの年齢が上がっていくごとに、少しずつ活動の幅を広げられるような体験活動の計画を立て、小さな「できるかも」の経験をさらに積み上げられるようにしていきたいと考えています。また、長期休みだけでなく日常の中でも小さな体験活動をおこなえるよう企画し、こどもたちの持つ可能性をさらに引き出す場所にしていきたいと思っています。



特定非営利活動法人 バンブーまなび塾

おもな活動地域：横浜市内全域 設立年：2015 年



団体紹介

不登校、ひきこもり、障がい、貧困等の困難な状況にある子どもや若者、その家族に対し、学習支援、体験機会の提供、居場所支援、相談支援等をおこない、一人一人がなりたい自分になれるよう、また、自立し幸福な人生を歩んでいけるよう、多面的なサポートをしています。

プラン・アイデア名

貧困その他による教育格差、体験格差に対し、学習、体験、居場所等の支援

不登校、障がい、貧困等の困難な状況にある子どもに対し、(1)受験や就労にむけた個別学習支援、(2)自宅以外の安心できる居場所の提供、(3)コミュニケーション能力と自己効力感を高めるための「星を観る会」や「理科実験教室」等体験機会の提供、(4)子ども本人やその家族のための相談支援をおこないました。



理科実験教室の様子

1 年間の活動の成果

16名の個別学習支援をおこない、1名の大学合格、2名の高卒認定合格、3名の英検5級取得をサポートしました。こうした目に見える成果だけでなく、「理科実験教室」等の体験学習では、子どもたちの自己効力感を育てることができました。体験機会として実施した「星を観る会」や野球観戦等では、引きこもりの状態であった子どもたちも、外で大勢の人々と行動するという貴重な経験ができました。また、家族への相談支援をおこなったことで、家族は安全で安心できる環境をつくり、子ども自らが動き出す心の成長を待つことが大切だという理解を家族から得られました。



「星を観る会」チラシ

今後の活動について

不登校の子どもが増加している昨今、当法人への利用希望者が増えてきています。不登校と一括りにされている子どもたちは、障害であったり、家族の問題であったり、貧困であったり、友人関係であったり、多様な問題を抱えています。そんな子どもたち一人一人の個別の問題に向き合いつつ、居場所でのもの作りや、育てた野菜を収穫して皆で食べるような集団体験によって、楽しくと夢中になれる時間を増やしていきたいと思ひます。



特定非営利活動法人 フェアスタートサポート

おもな活動地域：神奈川県内全域 設立年：2013 年



団体紹介

「どんな環境で育っても、全ての子ども達若者達が自分らしい「はたらく」を実現できる社会へ」を理念として、社会的養護が必要な子ども達や若者達へ、キャリア教育の提供や就職後のアフターフォローをおこなっています。

プラン・アイデア名

児童養護施設の子ども達への就労支援事業

主に 18 歳での自立をめざす、児童養護施設等で暮らす子ども達へ、就職相談、会社見学、就労体験といった実践的な就労支援を提供し、安定した就労継続に貢献しました。会社見学や就労体験の協力企業を増やすため、神奈川県内の企業訪問やロータリークラブ等各経済団体への呼びかけを実施しました。



会社見学の様子

1 年間の活動の成果

就職相談 35 名、会社見学 103 件、就労体験 73 件を実施し、15 名のアルバイト就労、7 名の正規雇用をサポートしました。協力企業は 20 社を新たに増やしました。近年は複合的な課題を抱える子どもが多く、本人の状況において就労をどこに位置付け、何をめざすのかといった支援の組み立てが必要なケースが目立ちました。私たちが細分化したキャリア教育のステップを個々に合わせて実施したことで、子ども達は徐々に自己理解を深め、社会へ出る予行練習を繰り返しながら就職準備を進めることができています。



企業より会社説明を受ける若者

今後の活動について

将来的には協力企業と児童養護施設の間に当団体が入る割合を徐々に下げ、施設自ら企業とネットワークを構築し、子ども達へ継続的にキャリア教育を提供できるよう両者へ働きかけていきたいと考えています。協力企業には、私たちが実施する丁寧なキャリア教育を経た若者達の就労継続率が高い傾向があると肌で感じてもらい、施設には、そのような若者達が将来貧困に陥りにくいと感じてもらうことで早期からのキャリア教育の意義が広く認知され、より活発にキャリア教育が行われるよう、一人でも多くの子どもを支援したいと思います。

